

【青島日本人学校・中学部の日本語取り出し指導について】

今年度は3名の生徒の日本語取り出し指導を行いました。取り出し指導を行うにあたり、4月に対象生徒の保護者と相談し、休校中は週1回オンラインによる個別指導、学校再開後は中国語や部活動の時間に取り出し指導を行いました。3名とも小学部高学年の時に現地校から編入学してきた生徒です。生活言語能力はさほど問題ありませんが、学習言語能力に課題があるため、日本語指導担当はできるだけ在籍学級の授業を見に行き、在籍学級の学習に参加し活躍できるようワークシートの書き方や音読・発表練習など、その時に必要な教科学習内容を精選・焦点化しながら指導しました。

3名の日本語力が異なるため、指導にあたり以下に示した学習言語能力の規準をもとに、毎時間の指導計画を考えました。(この規準は本校独自のものです。)

学習言語能力規準	A	B	C
<ul style="list-style-type: none"> ・学年相当の漢字の習熟度 ・日本語の意味理解 ・日本語を使っての表現力 	80%以上	50~80%	50%未満

〈2020年4月~12月 日本語指導記録〉

中1・学習言語能力Aの生徒

1	<p>学習項目：日本語力の測定と文法の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～つづける⇒動作の継続 ・おいておいて⇒おいておく ・「～てしまう」⇒全部終わらせること。 ・「せず」⇒何もしないこと ・「しないように」⇒～をしないと決めて、自分で気をつけること。 <p>【指導のポイント】オンラインでの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と中国の文化や習慣の違いなどにふれながら、フリートークの時間を多く取った。 ・「部長」の発音で、「部」にアクセントがついてしまうなど、語頭にアクセントがつくことが多いので、発音の練習も行った。
2	<p>学習項目：文法の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動詞+可能形（起きます→起きられます） ・形容詞+くなる（痛くなくなりました） <p>【指導のポイント】オンラインでの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は発音の指導に時間をかけた。カ行、タ行が濁音化することが多いので、日本語に多くみられる無声音の説明を行い、発音練習をした。「ちかく」が「ちがく」（「が」にアクセント）になる。また、話し言葉から先に日本語を覚えているので、ら抜き言葉でおぼえているため、ら抜き言葉の説明を行った。
3	<p>学習項目：文法の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動詞+こう形+とあります ・動詞+ために ・動詞+ように ・動詞+のに ・動詞+命令形 ・比較 ・使役受身形 <p>【指導のポイント】オンラインでの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き文法の学習を行いつつ、今後は教科の学習用語も取り入れながら進めていきたい。

4	<p>学習項目：短作文練習、国語科ワークの書き方</p> <p>・つまり ・たとえば ・このように ・要するに</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>・音読する時に、訓読みの単語を音読みしてしまう場面があった。(鳥(とり)⇒ちょう)</p> <p>・語彙力がつけば、日本語力も国語力も飛躍的に伸びると思われる。</p>
5	<p>学習項目：短作文練習、国語科ワークの書き方</p> <p>・AとはB、BそれがA ・いわば、という</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>・タ行の濁音化が目立つので、発音練習を行った。・抽象化・具体化、因果関係の意味を丁寧に説明した。</p> <p>・「いもを洗うような状態」など、日本特有の比喩表現をいくつか説明した。</p> <p>・中国語の母語干渉の影響がみられた。「デパートは、おしゃれの服の売っているの所」など。</p>
6	<p>学習項目：短作文練習、音楽科ワークシートの書き方</p> <p>・「主+述」の基本パターン ・接続語</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>・「主+述」の基本パターンでは、日本語の特性(膠着語)にも触れながら、問題演習に取り組んだ。</p> <p>・主語がなかなか見つけられない⇒助詞の理解に課題があるため、助詞の説明と使い方を練習した。</p> <p>・問題文中の語彙(クラシック、ポップスなど)が理解できなかったため、会話の中で語彙を増やしたり、助詞の正しい用法に触れたりしていく。</p>
7	<p>学習項目：短作文練習</p> <p>①名詞化力を高める練習⇒各文がそれぞれ「何」について書いてあるのかを文中にない語彙で説明する。</p> <p>②心情語(気持ち)を身に付ける練習 ⇒選択肢から選ぶ。</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>①の問題練習では、各文が意味する内容は分かっているが、一言で表す語彙が出てこないため、簡単な言葉で表させて、そこから同意義語を派生させて考えていった。「道順」を「行くの方法」と答えた。</p>
8	<p>学習項目：短作文練習</p> <p>1.猫<small>に</small>小判(価値/価値) 2.一石二鳥(行動/利益) 3.木<small>を</small>見て森を見ず(部分/全体)</p> <p>4.雨<small>だれ</small>石をうが<small>つ</small>(努力/成果) 5.泣き<small>っ</small>面にハチ(悪い/悪い)</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>・ことわざをパーツごとに抽象化する練習では、語彙不足のため、なかなか言い換えができなかった。</p> <p>・対話の中でヒントを与えれば、正解にたどり着くことができる。</p> <p>・「泣きっ面にハチ」のみ、「悪い」と言い換えができたが、その他はなかなか言い換えられなかった。</p>
9	<p>学習項目：短作文練習(国語ワークより)</p> <p>・国語ワークの「語句」から短作文を作る練習 (通算、持て余す、放棄、か細い、厄介、俊敏、はやる心、とっかかり)</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>・語彙不足のため、なかなか短作文が書けなかった。</p> <p>・ワークの「語句」から短作文を作る練習を行った。助詞の使い方、漢字の読み方に課題がある。</p>
10	<p>学習項目：短作文練習(国語ワークより)</p> <p>「言いかえる」練習(P.38からP40)</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>・「春」を連想する事象が思い浮かばなかったため、iPadを用いて「春の草花」を調べた後に書いた。</p> <p>・「三度目の正直」「立つ鳥あとをにごさず」などの慣用句を調べ、問題文に挑戦した。</p>

11	学習項目：短作文練習（国語ワークより）
	<ul style="list-style-type: none"> 国語ワークの「語句」から短作文を作る練習（うらめしい、やり過ごす、たどたどしい、とどこおる、ぎこちない） <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単語の意味をかみ砕いて説明すれば、理解できる。 iPad を使って例文を調べ、音読する練習を行ったが、漢字の読みにまだまだ課題があるので、この学習方法を続けていく。（筆をペンと読んだりもした）
12	学習項目：現段階にける日本語力の測定
	<ul style="list-style-type: none"> 日本語検定の問題集を解く <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> N4～N3の問題集（文法項目）用いて現在の日本語力を測定した。N4 の力がある。この結果を受けて、今後はN3の文法内容も取り入れながら指導する。
13	学習項目：文法（動詞の可能表現と使役表現）
	<ul style="list-style-type: none"> 動詞の可能表現と使役表現の学習では、「さ入れ」「ら抜き」「れ足す」言葉について説明しながら、問題演習を数多く行うことで、用法を感覚としてつかませる。 <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語と中国語の文法の違いに触れながら短作文づくりを行った。

中2・学習言語能力Cの生徒

1	学習項目：文法の確認（副詞・接続詞）
	<p>①フリートーク（オンライン授業が始まって一週間。授業で困っていることなどを話させたい）</p> <p>②事前に渡した宿題プリントを用いて定着度をチェックする。</p> <p>【指導のポイント】 オンラインでの指導</p> <p>事前にプリントを渡し、解いてから授業に臨む約束をした。問題文の音読練習もしっかり行っており、自然なイントネーションで上手に読むことができた。音読の力がついていて感じた。</p>
2	学習項目：短作文練習
	<p>① フリートーク</p> <ul style="list-style-type: none"> それに対して ・一方 ・逆説のことば（が、だが、ところが、けれども、にもかかわらず） <p>【指導のポイント】 オンラインでの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 「桃太郎」の話を初めて聞いた、ということだったので、日本の昔話や桃太郎について話題にした。 今日の学習内容については問題なく理解できた。
3	学習項目：短作文練習
	<p>① フリートーク</p> <p>② 「対比」（それに対して、でも、逆に、一方）</p> <p>【指導のポイント】 オンラインでの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 抽象的→具体的、肉食動物→草食動物、賛成→反対の対義語と読み方が分からなかったようだ。 今回は、「が、むしろ、ではなく」を学習しますと予告したら、「はい、全て分かります」と答えたので中国語で意味を言わせたところ、正しく理解していなかったことが分かった。「が」を「か（吗）」と捉えていた。次回からも、怪しいと感じたら中国語でも確認していくことが必要である。

4	<p>学習項目：短作文練習、数学科補充指導</p> <p>① 「逆接」(が、むしろ、ではなく)</p> <p>② 数学補充 (数学の授業で使用したスライドを使って復習する)。⇒文字式の利用</p> <p>【指導のポイント】 オンラインでの指導</p> <p>① 「逆接」の問題だったが、問題文の難易度が高すぎたため、対義語にしぼって答えを確認した。</p> <p>② 数学の教科担当から、文章題になると理解できていないようだ、との話を受けて、授業で使用したスライドを用いて復習を行った。概ね理解できているが、学習用語が正しく読めていない。位を「い」、数を「すう」、和は「よめません」と訴えた。</p>
5	<p>学習項目：文法の確認 (対義語)</p> <p>問題集を使用し、選択肢から対義語を選ぶ。</p> <p>【指導のポイント】 オンラインでの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 対義語についての問題に取り組んだところ、8割の正答率だった。どうやって調べたのかと質問したら、「調べていない。自分で考えた。中国語の漢字と意味が同じだからなんとなく分かる。」と答えた。 促音の読み方がまだ定着していない。
6	<p>学習項目：短作文練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だから ・なぜなら ・から ・のである <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> テキスト中の「ショック」の意味と用法について質問があった。 日本の生活習慣についてまだ知らないことがたくさんあるので、問題文中に日本についての内容があるとイメージがわからないようである。
7	<p>学習項目：短作文練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それで ・結果として <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続語の意味はほぼ理解できているが、問題文中の語彙が理解できていない。(とら、こま、けんだま、など) 辞書をひかせて、語彙の確認をしながら進めた。
8	<p>学習項目：短作文練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つまり ・たとえば ・しかし ・一方 ・それに対して ・だから ・なぜなら <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の語彙はほぼ理解できたようだ。 中国四大名著について詳しく説明してくれた。現地校では小学5年生の夏休みに四大名著の中から一つ選んで読書感想文を書く宿題があるらしく、宿題についてうれしそうに教えてくれた。
9	<p>学習項目：短作文練習、音楽科補充指導</p> <p>① 音楽ワークシートの書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作曲の授業をしているが、教師の指示を理解できていないため、書き方の指導をする。 <p>② 前回の復習 (・つまり ・たとえば ・しかし ・一方 ・それに対して ・だから ・なぜなら)</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>① 授業では教師の指示がほとんど伝わっておらず何も書けなかった。席替えなどの対応も必要である。</p> <p>② 前回の復習をしたが、まだ定着していないので繰り返し練習する。</p>
10	<p>学習項目：短作文練習、日本の地理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ・つまり ・たとえば ・また ・なぜなら ・すなわち ・ところで ・あるいは ② 日本の地理 (日本の人口や都道府県の情報については i P a d で調べながら記入させる)

	<p>【指導のポイント】</p> <p>① 問題演習は6問中1問のみ正解。接続語の使い方がまだ定着していない。</p> <p>② 日本についてほとんど知らないようなので、この資料を使いながら、日本についての知識も深めさせたい。</p>
11	<p>学習項目：日本の地理について</p> <p>「日本の地理」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPadを使用し、視覚的に理解させる。(原爆ドーム、姫路城、道後温泉) <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東西南北の訓読みができなかった。(北を「ひがし」と何度も読み間違えた)。 ・ 「修飾しているのはどの部分か」という問題の意味が分からなかったため、修飾について説明した。今日は中国語で考えたり、中国語で発話したりする場面が多くみられた。
12	<p>学習項目：日本の文化について</p> <p>「日本の文化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔話、東北四大祭りについて調べる活動があるので、紙芝居の読み聞かせや iPadを使用する。 <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙芝居は中国でも同じようなものがあるため、すぐにイメージをつかむことができた。紙芝居「ねずみのちょうじゃ」を読み聞かせた。 ・ 東北地方を「ちよう」と読むなど、知識以前に漢字の読み方が分からない語彙が多かった。 ・ iPad を使用してローマ字入力をさせたが、ローマ字が分からないため苦労していた。新たな課題も見えてきた。
13	<p>学習項目：国語科補充指導、発表練習</p> <p>①国語の補充指導「平家物語」(音読指導)</p> <p>②職業体験にむけて(・インタビューの仕方 ・ワークシートの書き方)</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>①2 学期から、国語の教科担任と連携して日本語指導にあたる。教科担任は、毎時間の授業後5分間(×週4=20分)、音読指導や学習補充を行っている。補充指導の様子を見に行き、日本語指導の時間に再指導する。</p> <p>②職業体験にむけて、身近な人へのインタビューを行う宿題が出されている。インタビューの練習や、ワークシートの内容について説明した。語彙の理解が不十分だったため、内容を丁寧に確認した。</p>
14	<p>学習項目：「職業調べ」発表練習</p> <p>①音読練習「平家物語」(音読指導)</p> <p>②「職業調べ」の発表練習(明日の授業参観での発表に向けて、発表の練習を行う)。</p> <p>【指導のポイント】</p> <p>①読み仮名を間違えて書いている箇所が数か所あった。</p> <p>②内容がほぼコピペのため、意味や語彙が分からず読んでいるようだったので、意味や語彙を確認しながら音読指導を行った。カタカナが読めず、カタカナの上にひらがなをふって読んでいる。</p>
15	<p>学習項目：ローマ字①、九九</p> <p>ローマ字の確認(小3が使用しているローマ字ドリルを使って、ローマ字練習を行う)</p> <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在籍級で iPad を用いて調べ学習をするときにローマ字打ちに非常に時間がかかるため、ローマ字練習を行った。ローマ字と合わせて日本語の語彙の確認をした。そこから九九の話題になり、日本式の九九の読み方の練習も行った。

16	学習項目：ローマ字②
	ローマ字の確認 <ul style="list-style-type: none"> ローマ字とともに、日本語の発音練習も同時に行う。 単語は意味の確認を行い、漢字で書けるようにする。辞書も活用する。
	【指導のポイント】 <ul style="list-style-type: none"> 問題文中で意味の分からなかった単語⇒ぬの、あさひ、へそ、このは、こや、れつ、わし、つらら 漢字が書けなかった言葉⇒時計（×钟）、服（×衣服）、小屋（×故屋）、満員（×満人） ピンイン読みになってしまう文字⇒wasi（ワス） ローマ字を読むとき、たとえばhlなら（フ・イ⇒ヒ）とピンイン読みからの変換をしている。
17	学習項目：ローマ字③
	ローマ字の確認
	【指導のポイント】 <ul style="list-style-type: none"> 今回もピンイン読みが目立った。Ziを「ズ」と発音してしまう。 問題中の語彙が、理解できていないものが大半だったため、辞書を使いながら意味の確認も行った。
18	学習項目：発表練習、ローマ字④
	①総合的な学習（オンライン企業訪問）での司会の練習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 司会の原稿を担当からもらい、なめらかに読む練習を行う。
	②ローマ字の確認
	【指導のポイント】 <ul style="list-style-type: none"> Nの発音が、日本語と中国語では響きの場所が異なるため、発音の特訓をした。 ローマ字はBとPで混乱しているようだった。ローマ字の単語をカタカナで書かせたが、カタカナが書けない
19	学習項目：作文練習
	①総合的な学習（オンライン企業訪問）での司会の練習を行う。
	②ローマ字の復習（最終回）
	③作文練習
	【指導のポイント】 ①司会の練習では、自信を持って堂々と読むことができていた。 ②授業でロイロノート、ライズを使っているため、ローマ字にもかなり慣れてきた。siを「ス」、ziを「ズ」とピンイン読みしてしまう癖がなかなかとれない。
20	学習項目：数学科補充指導、ローマ字入力の練習
	①合同条件が正しく書けるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 昨日の授業の様子から、合同条件をまぜこぜに覚えている、助詞抜けで書いている、という課題から、正しく書く練習をする。
	②ローマ字入力の練習
	<ul style="list-style-type: none"> iPadを準備し、ロイロノートの使い方の練習をする。
	③作文練習
	【指導のポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ロイロノートを用いてローマ字入力の練習を行った。だいぶ入力のスピードもupした。 作文練習は家庭でも取り組んでおり、「将来の夢」について何度も書いているようだ。日本語教室では別のテーマも取り組んでいく。 次回、作文を音読し、ロイロノートに録音する。

21	学習項目：短作文練習、文法の確認（他動詞と自動詞）
	①「つまり」と「だから」の違いを考える。
	②他動詞と自動詞
	【指導のポイント】
	<ul style="list-style-type: none"> ・言い換える力の復習を行ったが、概ねよく理解できていた。 ・他動詞と自動詞の文法確認では、語彙力に課題が見つかった。

中3・学習言語能力Bの生徒

1	学習項目：日本語力の測定と文法の確認
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ながら」＝「だけれども」 ・「～そうにない」 ・可能形（できる）＋ように ・「～そうだ」 ・「～のか」（表示推測理由） ・「おかげで」＝～の助けがあったので ・「目上の方」←読み方指導
	【指導のポイント】 オンラインでの指導
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で対話する時間を多く設定した。本人の話では、まだ授業の内容やクラスメートの会話のすべてが分かるわけではない、と話していた。
2	学習項目：文法の確認
	<ul style="list-style-type: none"> ・～から・・・まで（範囲） ・名詞＋「はじめ」（～を代表に） ・「～における」→「～での」 ・「もとに」→「生かして」 ・「こそ」（強調） ・動詞＋「かける」 ・人＋「に限って」（その人だけは） ・名詞＋「めぐり」（それが原因で） ・「～ものだ」（一般的には）
	【指導のポイント】 オンラインでの指導
	<ul style="list-style-type: none"> ・「～をはじめ」「～をもとに」の違いを丁寧に説明した。 ・問題文を自然なイントネーションで読むことができるが、力行の濁音化がみられるので、次回から発音練習も行う。
3	学習項目：文法の確認
	<ul style="list-style-type: none"> ・尊敬表現 ・縮小形 ・名詞＋なんか
	【指導のポイント】 オンラインでの指導
	<ul style="list-style-type: none"> ・N4、N3 レベルの文法を中心に学習してきた。今後は教科の学習用語も取り入れながら、取り出し指導を進めていく。
4	学習項目：短作文練習
	<ul style="list-style-type: none"> ※「本当の国語力」が身につく問題集 より ・P72「比べる力」を読解問題に活用する
	【指導のポイント】
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ら抜き言葉」についての問題であった。「ら抜き言葉」の他に、「れ不足言葉」（話せれる、行けれる、遊べれる、読めれる、泳げれる、食べれる 等）があることについても説明した。 ・逆接の接続詞「むしろ」については中国語で補足説明した。（与其～不如）
5	学習項目：文型（行為の対象）、日本の地理について
	①表現文型（行為の対象）
	<ul style="list-style-type: none"> ・行為が向かう相手やものごとを示したいときの言い方。
	②『上級へのとびら』より「日本の地理」
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の人口などはiPadを使用して調べる。

	<p>【指導のポイント】</p> <p>① 文型の学習では、「～にこたえて、～をめぐる」の使い方が分からない、と話していた。音読時にアクセントの位置がすべて語頭についたり、夕行濁音化したりするため、発音練習も行った。</p> <p>② 今日のテキストは「日本の地理」であった。「日本人に中国を紹介しよう」というコーナーでは、高学年まで現地校の教育を受けてきた経験を強く感じる場面があった。</p>
6	<p>学習項目：社会科調べ学習（発表練習）</p> <p>※社会科授業の発表に向けて、発表練習を行う。</p> <p>① 発表原稿のチェックと発表の指導を行う。</p> <p>② パワーポイントを使用しての、本番通りの発表練習を行う。</p> <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母語干渉による表現の間違いが数か所あったが、一生懸命調べ学習を行い、原稿を作成した。 ・漢字の読みや、アクセントの位置については、本人が不安に感じている個所を中心に指導した。短い時間でここまで発表原稿を作り上げたことに、本人の努力が伝わってきた。
7	<p>学習項目：短作文練習</p> <p>※指定の語句を用いて、主語・述語が入った短い文を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPad を用いて例文を調べ、調べた例文を参考にしながら自分で短文を作成させる。 <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの語句について、会話や作文の中で使ったことがないと言っていた。例文を音読させた所、読めない漢字が多かった。例文をかみ砕いて説明し、後半4つの語句については自分で短文を作成することができた。前半の語句は例文の中から自分のしっくりする例文を選ばせ、ノートに写させた。
8	<p>学習項目：短作文練習</p> <p>※指定の語句を用いて、主語・述語が入った短い文を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手を休める ・足が出る ・腕によりをかける ・単刀直入 ・口をそろえる ・骨を折る など <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例文は名作（物語）からの引用が多いため、難しい漢字が多用されているため読めない字が多い。 ・漢字は中国語読みになることがあった。 ・今日の指定の語句も、ほぼ初めて目にする語彙だったため、かみ砕いて説明した。
9	<p>学習項目：短作文練習</p> <p>※指定の語句を用いて、主語・述語が入った短い文を作成する（ロイロノートに音読を録音する。）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手に汗をにぎる ・足をひっぱる ・目もあてられない ・一朝一夕 ・五里霧中 <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートに例文を録音することで音読指導にもなり、自宅で振り返りもできるため効果的な取組だと思った。今後も継続する。 ・今回扱った語句は、ほぼ初めて目にする語句だったため、丁寧に意味を説明した。
10	<p>学習項目：短作文練習</p> <p>① 指定の語句を用いて、主語・述語が入った短い文を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> （・足もとをみる ・顔が広い ・歯に衣着せぬ ・有名無実 ・大器晩成） <p>② 「言いかえる力」を高めるトレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字－文字」をもとに抽象語を身に付ける <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読みに課題があるが、少しヒントを出すと二回目からは自分で読むことができる。 ・ロイロノートに録音し、直ちに自分の音読を客観的に振り返った。音読指導に効果がみとめられた。

11	<p>学習項目：短作文練習</p> <p>①「くらべる力」を高めるトレーニング（「それに対して」「一方」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対比にこだわり、バランスよく比べる文章を書く練習を行う。 <p>②日本語検定の問題集を使用して、「文法」を学習する。</p> <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くらべる力」の問題演習はとてもよくできている。このレベルの語彙の定着は十分であるといえる。 ・将来の日本の大学への進学に向けて、次回からは日本語検定用の問題集も使用して学習を進める。
12	<p>学習項目：日本語検定の問題に挑戦しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語検定の問題集を使用して、「語彙・言葉の意味」を学習する。 <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・類義語と対義語、文中に適当な形容詞を入れる問題に取り組んだ。日本語特有の微妙なニュアンスはまだ難しいと感じた。一緒に問題を解きながら、ニュアンスの説明を行った。
13	<p>学習項目：逆説的表現（パラドックス）</p> <p>①パラドックスについての意味や使い方を理解する。</p> <p>②パラドックスの例文の解釈を考え、自分で表現を考える。</p> <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常会話の中でもよく耳にする逆説的表現（パラドックス）を取り上げ、日本語の特有の表現について考えた。「負けるが勝ち」「便りが無いのはよい便り」などの意味を一緒に考え、授業の最後には自分で逆説的表現をいくつも考えることができた。